

## 令和 3 年度 犬山城関連主要事業の進捗について

## 1. 犬山城の保存活用に関する事業

## (1) 大手門枳形跡（犬山市福祉会館跡地）発掘調査

- 犬山城大手門枳形跡に位置する犬山市福祉会館跡地について、堀跡、土塁跡等の遺構の範囲及び残存状況、堀跡の形状（幅、深さ等）等の確認を目的とした発掘調査を実施した。
- 7月20日（月）から11月6日（金）にかけて発掘調査を実施。屈折部を含む近世期の堀の正確な位置や規模・形状などを把握することができた。発掘調査報告書を3月中に刊行予定。
- 10月2日（土）に地元住民向けの現場公開（参加者約40人）、3日（日）に市民向けの現地説明会（参加者約100人）を実施。12月11・12日（土・日）に名古屋市博物館で開催された「あいちの考古学2021」にポスターセッションで参加（来場者数約100名）。

## (2) 石垣調査の実施

- 本丸北側・南東側、杉の丸東側、樅の丸南東側・南側・西側、松の丸南東側の石垣の三次元測量、現況調査を実施し、石垣カルテを作成した。

## (3) 石垣保護工事実施設計

- 孕みなどが見られる松の丸南東側（針綱神社参集殿下）の石垣を保護し、周辺的安全確保を図るため、石垣表面及び石垣下斜面の立木間に樹脂製ネットを設置する石垣保護工事の実施設計を行った。

## (4) 移築された門・櫓の復元に向けた調査

- 犬山城城郭調査の一環として、廃城時に移築された市内外に現存する犬山城の門、櫓について、将来的な移築又は復元の際の基礎資料とし、記録としての保存を図ることを目的として、2基の門の実測調査及び痕跡調査を実施した。

(実績)：浄蓮寺門（一宮市：伝松の丸門）

期間：令和3年8月5日、10月28日（2日間）

調査：指導員：名古屋工業大学大学院 名誉教授 麓和善（犬山城城郭調査委員会）

：名古屋工業大学 准教授 濱田晋一

調査員：名古屋工業大学の学生 延べ11名

(実績)：徳林寺門（大口町：伝黒門）

期間：令和3年10月7日、10月18日（2日間）

調査：指導員：名古屋工業大学大学院 名誉教授 麓和善（犬山城城郭調査委員会）

：名古屋工業大学 准教授 濱田晋一

調査員：名古屋工業大学の学生 延べ8名

### (5) 犬山城城郭内樹木剪定伐採

- ・ 国宝犬山城天守・史跡犬山城跡 保存活用計画に基づき、遺構、眺望、来訪者、植生、景観に影響がある樹木を対象に、伐採、剪定等を実施。
- ・ 委託期間：令和 4 年 2 月 15 日～令和 4 年 3 月 25 日
- ・ 委託金額：3,300,000 円
- ・ 委託業者：有限会社芳葉園土木
- ・ 城郭内東側 8 本、登閣道、城山西及び北斜面の枯木、枯枝 12 本

### (6) 犬山城天守防災対策

○ノートルダム大聖堂、首里城跡での火災を受け、令和元年 12 月には国が「世界遺産・国宝等における防火対策 5 か年計画」を決定するとともに防火対策ガイドラインを改訂しその中でスプリンクラー設備等の自動消火設備等の整備など、初期消火対策の徹底に対して重点的に整備を進めることが示された。これを受け、令和 2 年度より初期消火に有効なスプリンクラー設備の設置に向けた検討を開始した。

- ・ 令和 2 年度は天守内部の全ての階にスプリンクラーを設置した場合の概算設計を実施し、木造文化財建造物防災対策の専門家の現地調査により防災対策の課題を調査した。
- ・ 令和 3 年度は前年度の専門家現地調査をうけ、犬山城修理委員会で検討した結果、木造文化財建造物である国宝犬山城の特性を十分考慮した形での防災対策を比較検討しながら、最適な対策を施す方針となった。
- ・ 令和 4 年度は出火防止、初期消火、避難誘導、煙制御、延焼防止、類焼防止、訓練等の観点から防災対策を検討する。

### (7) 犬山城講演会「国宝犬山城天守再考」の開催

国宝犬山城天守の創建年代を科学的に解明するために実施した年輪年代法による年代測定調査と、建物全体に及ぶ変遷過程等について詳細に検証した成果を広く市民に伝えるため講演会を開催した。

日時 令和 3 年 10 月 24 日㊦ 13:30～16:40 (12:30 開場)

場所 犬山市民交流センターフロイデ 4 階フロイデホール

講師 名古屋工業大学名誉教授 麓和善氏

奈良文化財研究所客員研究員 光谷拓実氏

定員 118 人 費用 無料

### (8) 「近世城郭の天守群」の取り組み

○令和 3 年 3 月末に、文化庁文化審議会より「我が国における世界文化遺産の今後の在り方（第一次答申）」が出され、世界遺産暫定一覧表の見直しが明記された。

令和 3 年度も、国の文化審議会世界文化遺産部会で引き続き審議されている。

○国宝 5 城による「近世城郭の天守群」での、世界遺産暫定一覧表への記載に向け、松本市、松江市、犬山市の 3 市で、国内の世界遺産や天守建築の専門家等から、方向性の確認や資産価値つい

での意見聴取、基礎的な調査研究や課題の洗い出しに加え、海外の専門家から現時点での提案書に関する意見聴取を実施し、顕著な普遍的価値（OUV）の磨き上げを共同で実施した。

## 2. 犬山城の管理に関する事業

### (1) 主な維持・修繕

- 四阿が経年劣化により東側に傾き、安全が確保できないため地上部分の撤去工事を実施  
（令和3年9月15日）
- 入場門小扉の施錠は閉錠で行っていたが、消防隊の進入が迅速に行えるよう外部から解錠が可能な施錠に取替（令和4年1月24日）
- 天守で火災が発生した場合に消防活動が迅速安全に行えるよう、自動火災報知設備の発報に連動して屋外及び天守内照明が点灯するよう改修（3月末完了予定）  
※点灯時間等：屋外照明は日没から午後10時まで点灯  
天守内照明は午後5時閉門後、管理事務所で電源遮断
- 空堀、城山西斜面周辺の草刈を7月及び11月に実施

### (2) 犬山城の消防訓練及び無料開放の実施

- 貴重な文化財保護の大切さを終始するため、1月26日の文化財防火デーに合わせ消防訓練及び無料開放を実施
  - ・日 時：令和4年1月26日（水）午前10時から午前11時00分
  - ・内 容：文化財の防災意識を高めるとともに火災発生時の初動対応を円滑に行えるよう、犬山城職員、夜間警備員、消防署等との合同消防訓練を実施。
  - ・想 定：不審者の放火により天守2階中央付近から出火し延焼拡大をしている。天守内には多くの来城者がいる。
  - ・参加者：36名（犬山城23名 夜間警備員2名 消防署7名 歴史まちづくり課4名）
  - ・無料開放：9:00～17:00
  - ・入場者数：524人
- 図上訓練の実施：令和4年3月3日（木）
  - ・本年度から防災体制の強化のため、消防本部予防課の指導により、天守からの出火を想定した図上訓練を実施